

授業科目名	保育所実習 (2100630)		
時間割名	保育所実習 (70110)		
時間割担当	矢野正 田邊実香		
実施期	通年	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

保育所の役割や機能を、保育所での実践を通して学ぶ。保育の記録を通して、保育所の一日の流れや保育の意義について学ぶとともに、保育者としてどうあるべきか実践のなかで考察する機会をもち、自分自身の保育者としてのあり方を考える。実践を通して保育者の職業倫理や業務内容の具体的展開を学ぶ。

学習の到達目標

1. 保育所の役割や機能を具体的に理解する。
2. 観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める。
3. 既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

授業方法・形式

講義を中心に、実践形式で行う。

授業計画

- 第1回 保育所の役割と機能(1) 保育所の役割と意義
- 第2回 保育所の役割と機能(2) 保育所の生活と1日の流れ
- 第3回 保育所の役割と機能(3) 保育所保育指針の理解と保育の展開
- 第4回 子ども理解(1) 子どもの観察とその記録による理解
- 第5回 子ども理解(2) 子どもの発達過程の理解
- 第6回 子ども理解(3) 子どもへの援助やかかわり
- 第7回 保育内容・保育環境(1) 保育の計画に基づく保育内容
- 第8回 保育内容・保育環境(2) 子どもの発達過程に応じた保育内容
- 第9回 保育内容・保育環境(3) 子どもの生活や遊びと保育環境
- 第10回 保育内容・保育環境(4) 子どもの健康と安全
- 第11回 保育の計画、観察、記録(1) 保育課程と指導計画の理解と活用
- 第12回 保育の計画、観察、記録(2) 記録に基づく省察・自己評価
- 第13回 専門職としての保育士の役割と職業倫理(1) 保育士の業務内容
- 第14回 専門職としての保育士の役割と職業倫理(2) 職員間の役割分担や連携
- 第15回 専門職としての保育士の役割と職業倫理(3) 保育士の役割と職業倫理

成績評価の基準

1. 実習登録手続きに関する状況、2. 事前の書類(細菌検査・オリエンテーション報告書など)提出の状況、3. 実習中の状況(巡回指導時の状況も含む)、4. 実習への参加状況、5. 実習先からの実習評価、6. 実習日誌提出、事後に必要な書類提出(お礼状・欠席届など)の状況、7. 実習日誌の記述内容をもとに総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

既習の保育者論、保育内容総論、保育内容5領域等の授業の総括をしておくこと。日頃から保育所の出来事についての新聞記事に目を光らせておく。未満児も含め、幅広い子どもたちの支援の方法を知っておく。子どもたちの心身や環境を踏まえて、望ましい発達のための援助や関わりについて考える。

履修上のアドバイス及

私語を慎む、無断で遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守ること。
資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらうこと。
なお、欠席については一切の事由を問わず認めない。

教材・教科書

特に指定しない。

参考書

授業中に適宜、指示する。